



# 大胡小学校

学校だより No. 11

TEL: 283-2064

<http://menet.ed.jp/oogo-es/>

保護者の皆様には、一学期たいへんお世話になりました。お陰様で、本日、一学期を終了することができました。今後も心配なこと、問い合わせ等ありましたら、学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。



## 終業式

7月19日(金)

終業式では、お巡りさんからの交通講話、児童代表の作文発表、校長と生徒指導担当からの話がありました。児童代表の作文発表では、一学期の頑張った様子が伝わってきました。長い夏休みが始まりますが、健康安全に気をつけ、夏休みの課題、水泳、合唱等、子どもたちが充実できるようご支援ください。

**●1年代表**      がんばったいちがっき      1年1組      T・S

わたしは、いちがっきにいろいろなことができるようになりました。ふうるでいろいろなおおよぎをおよげるようになりました。えのぐでいろいろなえをかけるようになりました。ひきざんとたしざんができるようになりました。あるいていけるようになりました。ごはんをへらさないでたべられるようになりました。せいかつかのべんきょうや、おんどくをよんだりできるようになりました。せんせいにいろいろなことをおしえてもらいました。

いちねんせいになってから、みんなのなまえをおぼえました。みんなのなまえをおぼえて、せんせいのなまえもおぼえました。みんなのことをしらなかったけれど、おぼえられました。いっぱいうれしかったです。

にがっきになったら、てすとをじょうずにできるようになりたいです。



**●3年代表**      一学期をふり返って      3年1組      J・H

わたしが一学期にがんばったことは、二つあります。

一つ目は、国語のじゅぎょうの漢字をがんばりました。わたしは、漢字をおぼえるのがにが手です。だから、漢字れんしゅうをするときに、ゆっくり、ていねいに書くようにがんばりました。

二つ目は、体いくのプレルボールです。わたしは、ボールをたかくとばせないの、たかくとばせるように、なんどもれんしゅうしました。少したかくとばせるようになりました。たかくとばせたときは、うれしかったです。にが手なものがあったも、あきらめないでがんばりたいです。

夏休みにがんばりたいことは、一学期にならったじゅぎょうのふくしゅうをして、スラスラできるようにがんばりたいです。



**●5年代表**      一学期をふり返って      5年1組      Y・N

私が一学期に特にがんばったことは、水泳と体力テスト、そして宿泊学習です。

水泳では、50m平泳ぎができるように、がんばって泳ぐことができました。

2つ目の体力テストでは、一番シャトルランをがんばりました。家でも家の周りをいっぱい走りました。本番では、目標の数にはいかなかったけど、がんばった成果が出たと思います。

3つ目の宿泊学習では、楽しく協力して過ごせました。だけど、少し直した方がいいこともありました。1つは、時間を守らなかったこと。2つ目は、むだな話をしてしまったことです。それは、一人が気をつけても、みんなが注意しないとだめなのかなと思いました。

夏休みにがんばりたいことは、水泳と宿題です。水泳では、もっともっとたくさん泳げるようにしたいです。そのためは、毎日、プールに来て、美しいフォームを作りたいです。宿題では、1問1問丁寧に、きれいに仕上げたいです。

そして、夏休みに注意したいことは、安全にすごすことです。安全にすごすためには、いろいろなことに気をつけ、油断しないことです。健康で安全にすごして、楽しい2学期をむかえたいです。

**●校長の話**      「自分を磨きましょう。」

みなさん、こんにちは。今日で、一学期が終了します。みなさんそれぞれが、たいへんがんばれた一学期であったと校長先生は感じています。また、通知票を見せて頂いて、みなさんが成長したことがよく分かりました。

さて、夏休みに向けて、2つお話しします。

まず、1つは、「自分を磨きましょう」ということです。毎年夏休みはあるけれど、1年生にとって、小学校1年生の夏休みは今年だけだということです。38日間あります。この38日間を大切に、自分を磨いて、自分を成長させてほしいと思います。しかし、夏休みですから先生はいません。ですから、「自分で」「自分を」磨いてください。

2つ目は、「自分の何を磨くか」ということです。例えば、一学期の勉強で難しかったところをもう一度やってみるとか、少し難しい問題にチャレンジしてみるとか、自分のやりたい勉強ができるのが夏休みです。宿題もありますが、・・・。また、自分を磨くことは国語と算数に限りません。読書や運動、図工、音楽などいろいろあります。それから家の手伝いや地域活動など、日頃できないような活動にチャレンジしてみるのもいいかもしれません。

明日から長い夏休みに入ります。健康安全に気を付けて、もっと光り輝く自分を目指してください。2学期に、一段とびかびか光り輝くみなさんに会えることを楽しみにしています。

### ●生徒指導担当から

- ・規則正しい生活をしよう。→(そうしないと)夏バテ、夏風邪、宿題がたまる。→つらい夏休みになってしまう。
- ・遊ぶ場所や遊び方に気をつけよう。→川の増水、土砂崩れなど危険な場所に近づかない。交通安全にも。
- ・知らない人にはついていかない。→こども安全協力の家や近くの大人に助けを求めよう。

## 校内研修②

7月2日(火)

今回も、校内研修でのスクールカウンセラーの佐藤先生の講話の後半を紹介します。

### ●集中が続かず、話を聞けない子

- ①刺激が多すぎると、どこに注目したらいいのかや、今は先生の話を聞くべきなのかの選択ができず、疲れてしまい、ボーッとしたり、注意散漫になってしまう。  
⇒教室の環境(ゴチャゴチャしているか、スッキリしているかなど)を再チェック。状況によっては、カーテンで隠したりの配慮を。
- ②座席は先生に近い一番前か2番目の席。廊下側や窓際は避ける。
- ③全体指示の後に個別に声を掛ける(自分には関係ないと思い、聞いていないことがある)。
- ④指示は短く、分かりやすく。長いと、最初に言ったことを覚えていない。
- ⑤子どもの表情や行動を観察し、落ち着きがなくなってきたと感じた時には、黒板を消してもらい、配り物をしてもらうなどで、気分転換をさせる。
- ⑥思い切り伸びをしたり、立ち上がってその場でジャンプしたりなど、身体を動かして気分転換させる方法もある。

### ●整理整頓が苦手な子

- ①机の引き出しの整理の仕方を教える。机の中に入れておく物はこれからの授業に使う物だけにする。
- ②授業が終わる都度、使った物を片付ける。たとえば、机の脇に置いた入れ物(中にポリ袋を入れたフィニッシュボックス)にまとめて入れる。帰りにはポリ袋ごとランドセルへ。
- ③次の授業に必要な物を机の上に出してから休み時間にすることを習慣化する。
- ④みんなで使う物は一目で分かるように片付けを工夫する。たとえば、文字、絵、写真などの目印を貼って、どこに片付けたら良いか示す。
- ⑤それでも整理整頓できない場合には、金曜日の放課後に先生が手伝って片付ける(お手本を示す)。「片付いていると、気持ちがいいね」「スッキリするね」などと声をかけ、少しずつでも片付いている方が良いことに気づくようにさせる。
- ⑥机の周囲に物が落ちている場合には、その都度声をかけ、片付けを意識づけていく。  
\*いずれにしろ、なぜうまくいかないのかその子どもの背景に何があるかを見極め(要因を掴む)、対応していくことが重要。

### ●叱ることと褒めることのさじ加減は?

- 危険を伴う行動には毅然とした態度で制止を。しかし、それ以外は、極力目をつむり、褒めることを心がける。叱る場合には、その行動を叱り、**人格を否定しないように配慮**する。
- 叱責が多いと、「どうせ自分はダメなんだ」「何をやっても上手くいかない」など、自尊感情が低下し、自己否定的になってしまうので、良いところは認めたり褒めるかかわりが必要になる。
- \*「できた!」「やった!」と思える成功体験を増やしていく。たとえ失敗しても、前向きに努力したことを認める。

私自身も子どもの時を思い起こすと、当てはまることがあります。大人は、勉強にしても、運動にしても、すぐに結果を求めてしまうところがありますが、何年か先を見て子どもに指導していけると良いなと思います。自戒でもあります。

※前回も紹介しましたが、佐藤先生は知識と経験が豊富な先生です。今すぐには改善はできないこともありますが、見通しをもたせてくださると思います。必要な時は、是非ともご来校ください。



7月音楽集会の様子

<文責 齊木>



